

# 平成 28 年度複式・少人数指導に係る研修会

平成 28 年 7 月 8 日（金） 庄原市立粟田小学校

複式授業や少人数指導における指導の在り方を研修することを通して、児童生徒が主体的に学び合う学習を目指した授業改善を図ることを目的に、研修会を行いました。

## 【公開授業・研究協議】「第 1・2 学年 算数科」

授業者 庄原市立粟田小学校 教諭 引田 秀美



◆授業実践をもとに、複式・少人数指導における授業の充実について協議を行った。

- ・ 間接指導時に児童の言動を把握できる室内配置を工夫する。
- ・ 友達の意見に質問や感想を述べるなど、話し合いのルールを自分たちで決めて取り組ませる。
- ・ 教師が異なる意見を準備し比較させることで、再考させ、間違いに気付かせたり、深めさせたりする。 等



### 【参加者の振り返りより】

- ・ 授業参観や研究協議を通して、学び方を学ばせることの大切さを再認識した。
- ・ 導入を工夫し、児童に課題意識や解決の見通しをもたせたい。
- ・ 児童のつまづきを予想し手立てを準備しておき、間接指導時に自主的に学習を進められるようにしたい。
- ・ 中学校におけるグループ学習においても、学習リーダーの役割を再確認し、組織的に指導していきたい。

## 【講話】「複式・少人数指導のよさを生かした授業の充実に向けて」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 佐々木 孝



### ◆間接指導の充実

- ・ 直接指導時に、解決や話し合いの見通しをもたせる。
- ・ 行き詰った時の手立てをもたせる。（振り返ることができるノートや掲示物、学習リーダーの役割、学び方の約束 等）

### ◆直接指導の充実

- ・ 思考を深める視点を明確にする。
- ・ 必要に応じた「わたり」の工夫（同時間接指導）

### ◆主体的な学びに向けた授業改善

- ・ 予習を生かした導入の工夫
- ・ 多様な考えを引き出す手立ての工夫